

決算説明資料（連結）

2018年3月期 第2四半期

インヴァスト証券株式会社

1. 四半期決算概況（2017.7～9）
2. 半期決算概況（2017.4～9）
3. 株主還元・配当政策
4. トピックス
5. Mission/Vision・経営戦略



四半期決算概況（2017.7～9）



2018年3月期 第2四半期決算 (2017.7-9) のポイント

■ 営業収益は9億89百万円 (第1四半期比+4.9%)

- ・ 国内金融事業 (当社) の純営業収益は、7億53百万円 (第1四半期比+6.0%)、セグメント利益67百万円 (同+67.4%) を計上
- ・ 海外金融事業 (豪州子会社 I F S) は、純営業収益2億30百万円 (第1四半期比+0.7%)、セグメント利益44百万円 (同△18.4%) を計上
 - 安定的な収益構造を構築した I F S の業績と、店頭 F X 「シストレ24」 のサービス好調により、トレーディング損益は、第1四半期比+7.2% の7億90百万円
 - 取引所 F X 「くりっく365」 の取引量は第1四半期とほぼ変わらず、受入手数料は第1四半期比+0.6% の1億47百万円
 - マネーハッチのリリースもあり、「トライオートETF」は取引量、預り証拠金ともに順調に拡大中

■ 販売費・一般管理費は8億68百万円 (第1四半期比+3.0%)

- ・ 「マネーハッチ」開始に伴うキャンペーン実施により、広告宣伝費は増加 (+39.2%)

■ 営業利益1億12百万円 (第1四半期比+17.9%)、 経常利益1億8百万円 (同+9.7%)、 親会社株主に帰属する四半期純利益は1億1百万円 (同+8.1%)

四半期毎の連結業績推移

単位：百万円	2017年3月期				2018年3月期				対直前 四半期 増減率 (18/1Q比)	対前年 四半期 増減率 (17/2Q比)
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q		
営業収益	924	742	833	1,048	943	989			+4.9%	+33.3%
受入手数料	217	162	180	151	146	147			+0.6%	△9.7%
トレーディング損益	617	503	565	829	736	790			+7.2%	+57.1%
金融収益	7	5	5	6	11	13			+17.3%	+135.4%
その他の営業収益	82	70	81	61	48	38			△20.7%	△45.6%
金融費用	0	2	0	1	4	8			+84.3%	+307.2%
純営業収益	924	740	832	1,047	938	981			+4.5%	+32.6%
販売費・一般管理費	848	866	979	893	843	868			+3.0%	+0.3%
営業損益	75	△126	△146	154	95	112			+17.9%	—%
経常損益	71	△128	△150	137	98	108			+9.7%	—%
税金等調整前四半期 純損益	77	△128	△128	76	103	108			+5.3%	—%
親会社株主に帰属する 四半期純損益	52	△108	△137	73	94	101			+8.1%	—%

四半期毎の連結業績推移（販管費の内訳）

単位：百万円	2017年3月期				2018年3月期				対直前 四半期 増減率 (18/1Q比)	対前年 四半期 増減率 (17/2Q比)
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q		
販売費・一般管理費	848	866	979	893	843	868			+3.0%	+0.3%
取引関係費	212	245	327	208	177	201			+13.7%	△17.9%
(内、広告宣伝費)	(112)	(154)	(223)	(96)	(83)	(116)			+39.2%	△24.9%
人件費	233	211	227	243	247	254			+2.6%	+20.0%
不動産関係費	270	282	301	307	291	291			+0.1%	+3.1%
(内、システム関連費)※	(224)	(234)	(246)	(248)	(236)	(231)			△2.2%	△1.1%
事務費	6	9	6	5	6	7			+17.0%	△18.9%
減価償却費	88	84	80	80	78	80			+1.6%	△4.6%
租税公課	23	17	21	30	26	21			△17.7%	+21.5%
その他	14	15	13	17	15	12			△21.4%	△19.7%

※システム関連費…主に、店頭F Xの出来高に応じたI Tベンダーへのシステム利用料です。

各種キャッシュバックキャンペーンの実施により、広告宣伝費は直前四半期比+39.2%となったものの、販売費・一般管理費の合計は直前四半期比+3.0%とほぼ横ばい

四半期毎の連結業績推移（セグメント別）

単位：百万円	2017年3月期				2018年3月期				対直前 四半期 増減率 (18/1Q比)	対前年 四半期 増減率 (17/2Q比)
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q		
国内金融事業（当社）										
純営業収益	782	603	655	728	710	753			+6.0%	+24.8%
セグメント損益	64	△131	△174	31	40	67			+67.4%	—%
海外金融事業（海外子会社 I F S）										
純営業収益	144	139	177	319	229	230			+0.7%	+65.7%
セグメント損益	10	5	27	122	54	44			△18.4%	+790.8%

・報告セグメントの変更について

2018年3月期より、報告セグメントを従来の「取引所 F X 取引」、「店頭 F X 取引」、「店頭 E T F 取引」および「海外金融事業」の4区分から、「国内金融事業」および「海外金融事業」の2区分に変更しております。

変更の理由は、経営資源配分や投資などの経営判断を国内事業と海外事業という区分毎に行っているという経営管理体制の実態等を鑑み、「取引所 F X 取引」、「店頭 F X 取引」、「店頭 E T F 取引」を集約し、「国内金融事業」とすることが合理的であり、より適切であると判断したことによるものです。



半期決算概況（2017.4～9）

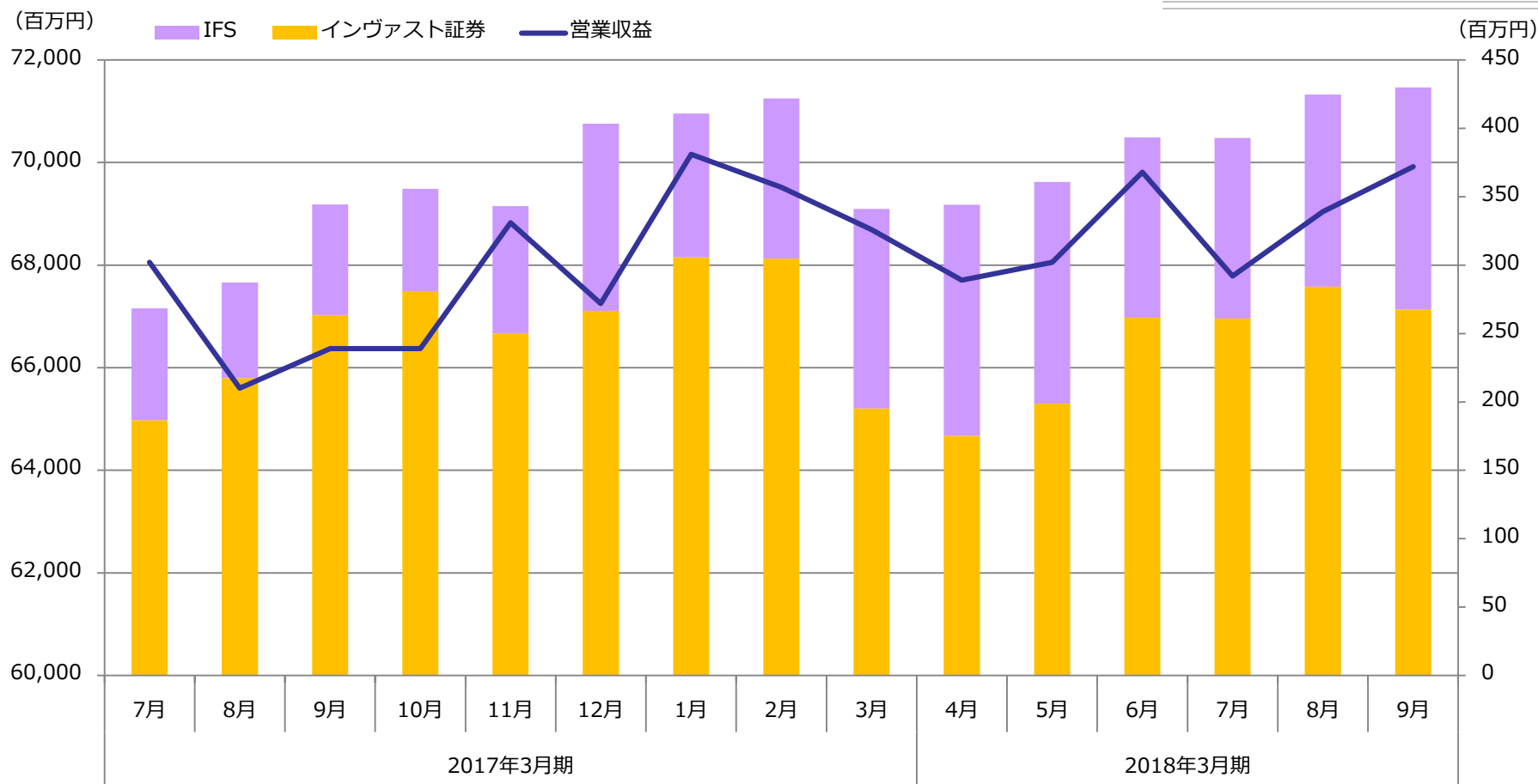
連結業績サマリー

単位：百万円	2017年3月期 2 Q累計	2018年3月期 2 Q累計	対前期 増減率
営業収益	1,666	1,932	+15.9%
受入手数料	379	293	△22.8%
トレーディング損益	1,120	1,527	+36.3%
金融収益	13	25	+90.3%
その他の営業収益	152	86	△43.4%
金融費用	2	12	+400.7%
純営業収益	1,664	1,919	+15.4%
販売費・一般管理費	1,715	1,712	△0.2%
営業損益	△50	207	—
経常損益	△57	207	—
税金等調整前当期純損益	△50	211	—
親会社株主に帰属する当期純損益	△55	195	—

単体業績サマリー

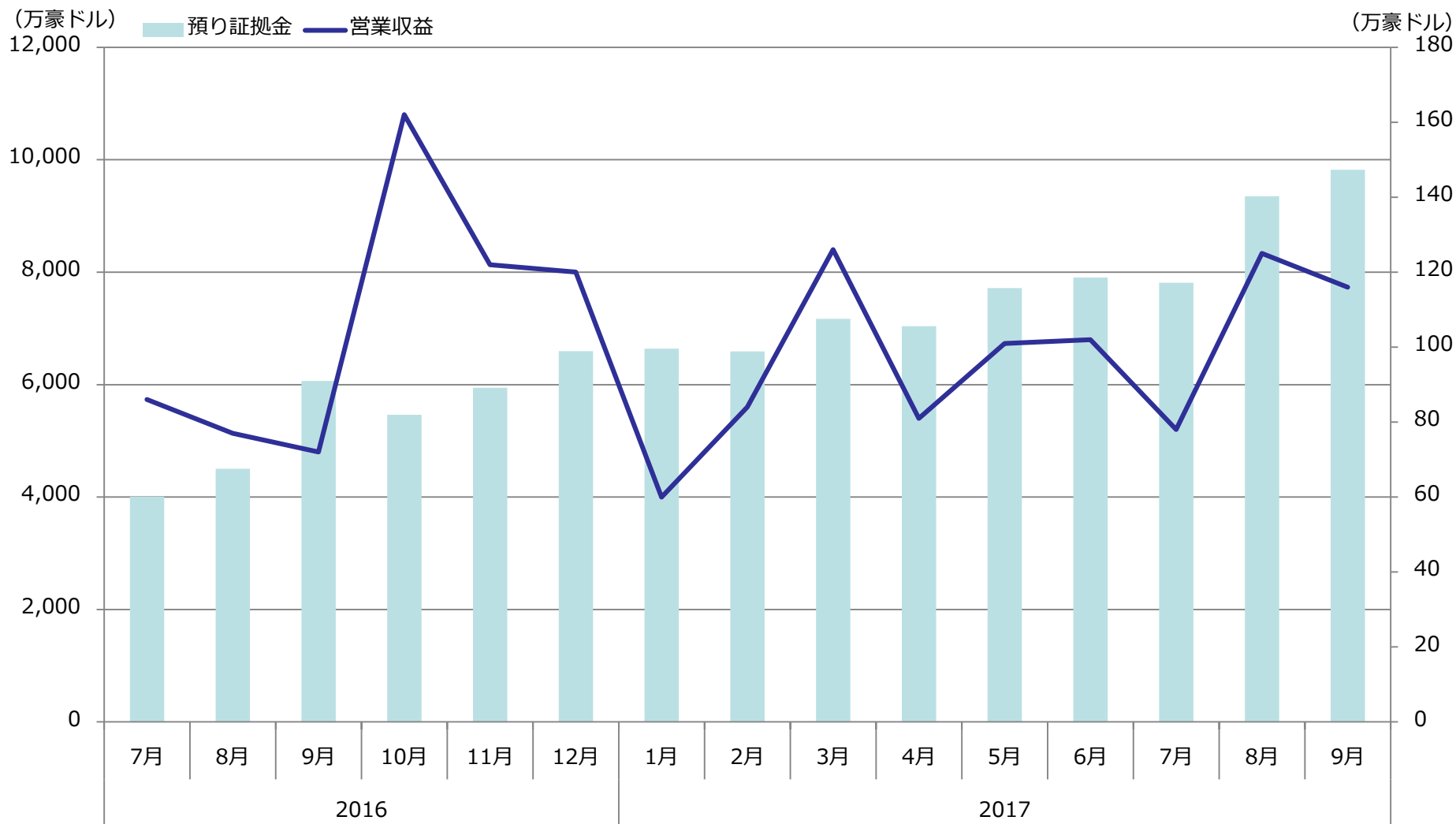
単位：百万円	2017年3月期 2 Q累計	2018年3月期 2 Q累計	対前期 増減率
営業収益	1,388	1,477	+6.3%
受入手数料	363	241	△33.6%
トレーディング損益	872	1,134	+30.1%
金融収益	1	12	+766.3%
その他の営業収益	151	88	△41.7%
金融費用	2	12	+400.7%
純営業収益	1,386	1,464	+5.6%
販売費・一般管理費	1,453	1,356	△6.7%
営業損益	△66	107	—
経常損益	△62	115	—
税引前当期純損益	△56	119	—
当期純損益	△61	103	—

【連結】 営業収益・預り証拠金推移

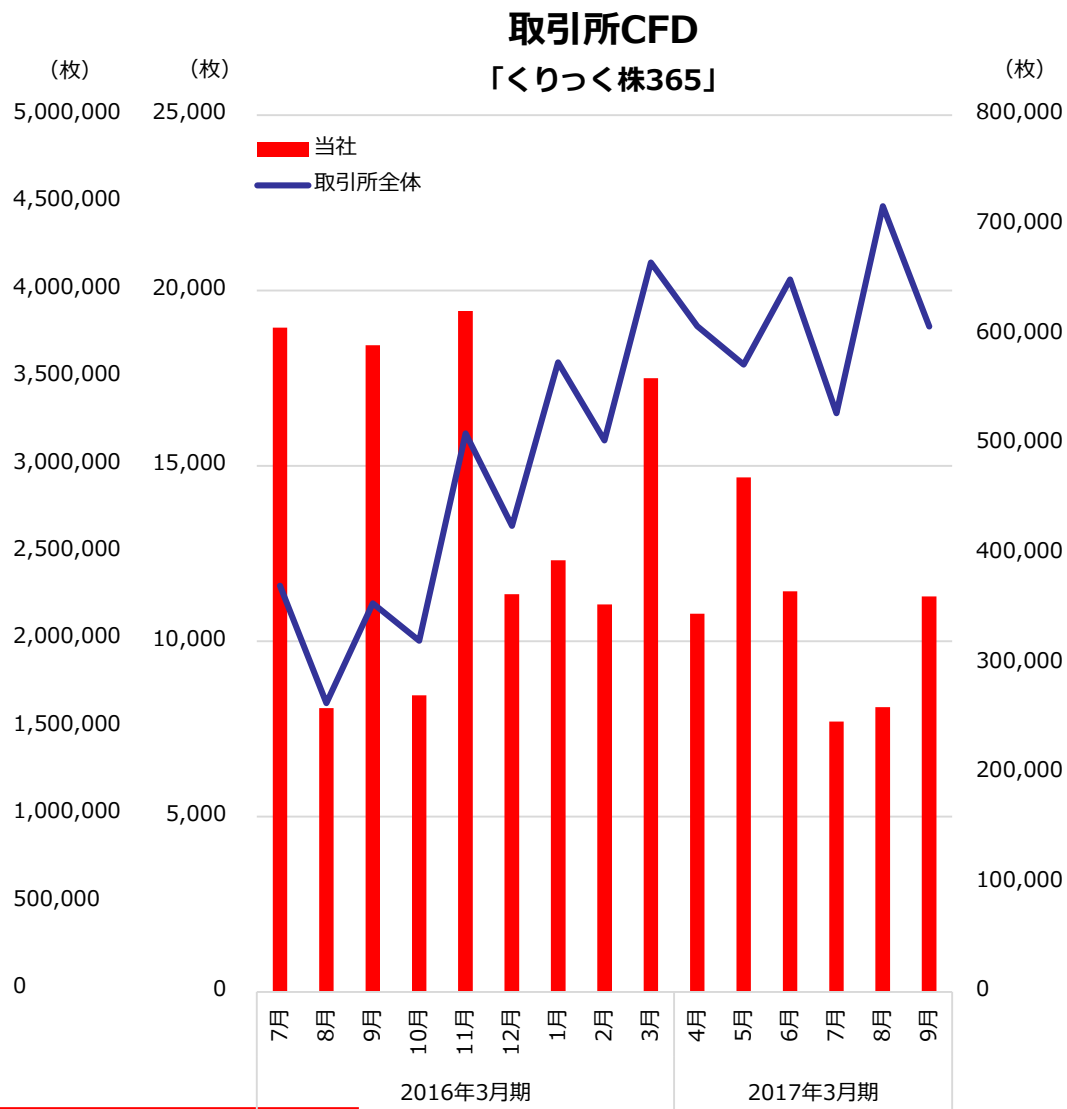
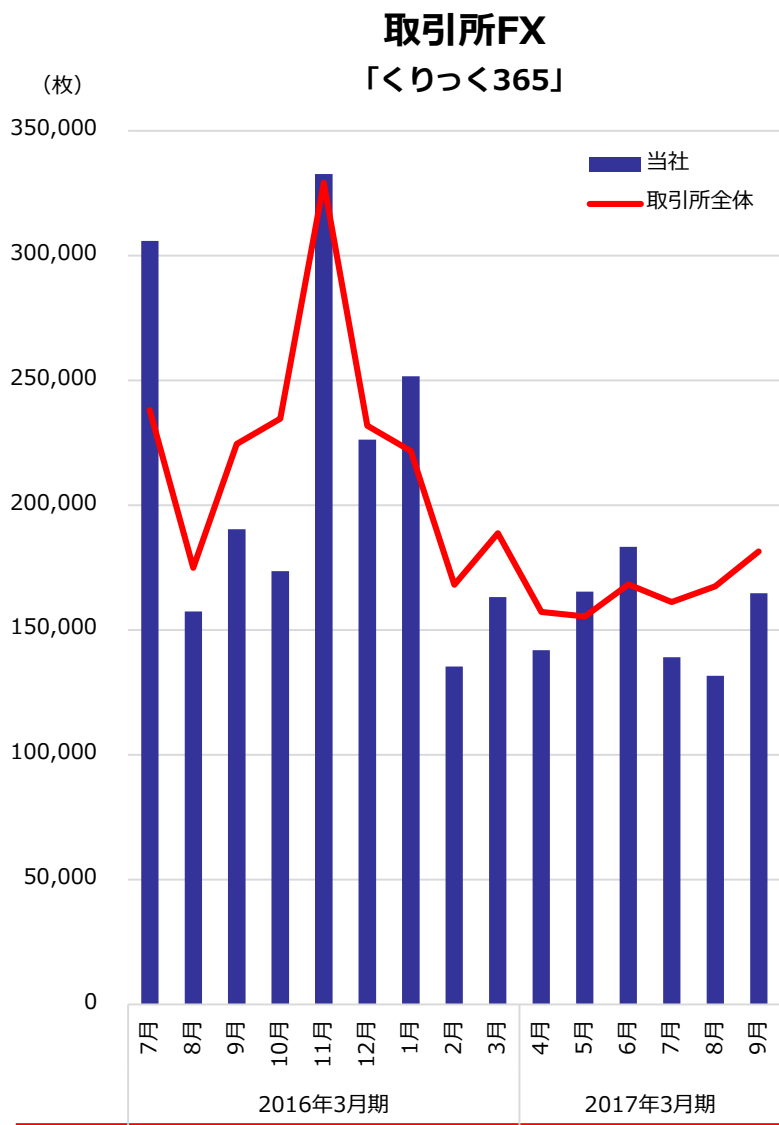


- (注) 1. 連結子会社 I F S の決算日は12月末となっているため、上記数値は、発生から3ヶ月遅れで連結しております。
 2. I F S の営業収益等は、月中平均為替レートを用いて円換算しております。
 3. 2017年3月より、「くりっく株365」事業に係る預り証拠金の表示方法を変更したことにより、当該事業に係る預り証拠金が減少しております。

【IFS】 営業収益・預り証拠金推移

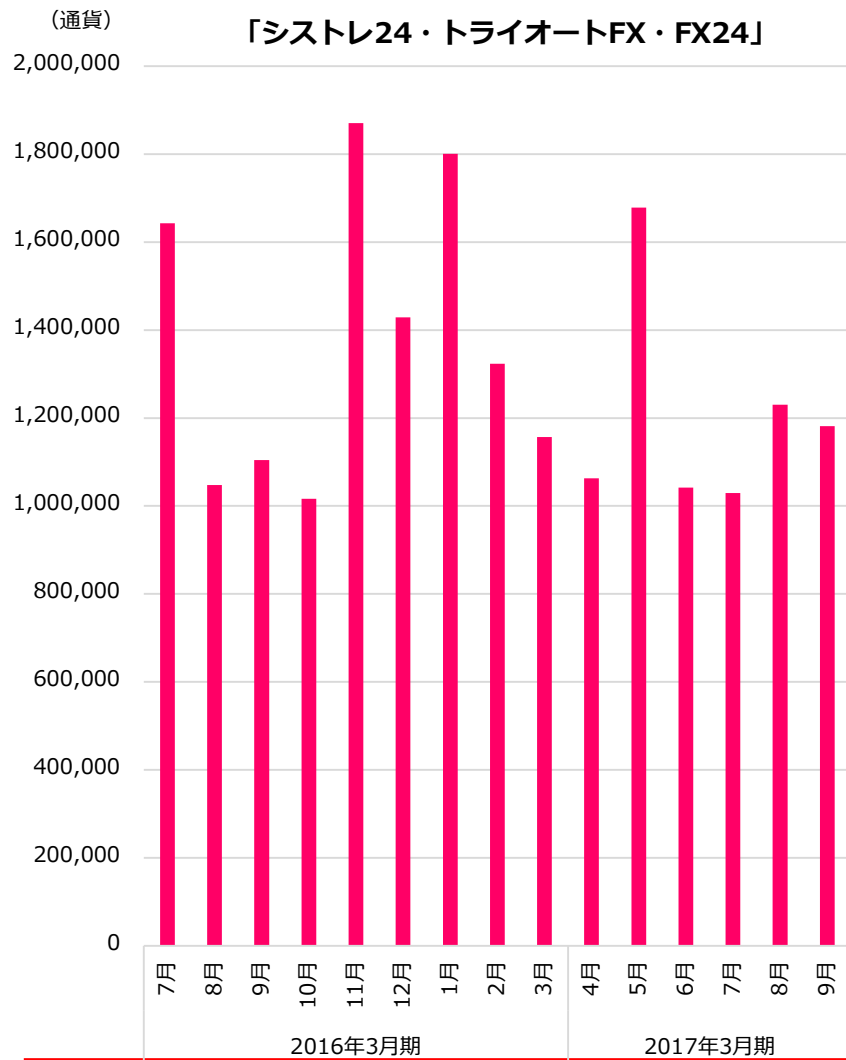


【取引所FX・取引所CFD】取引高推移

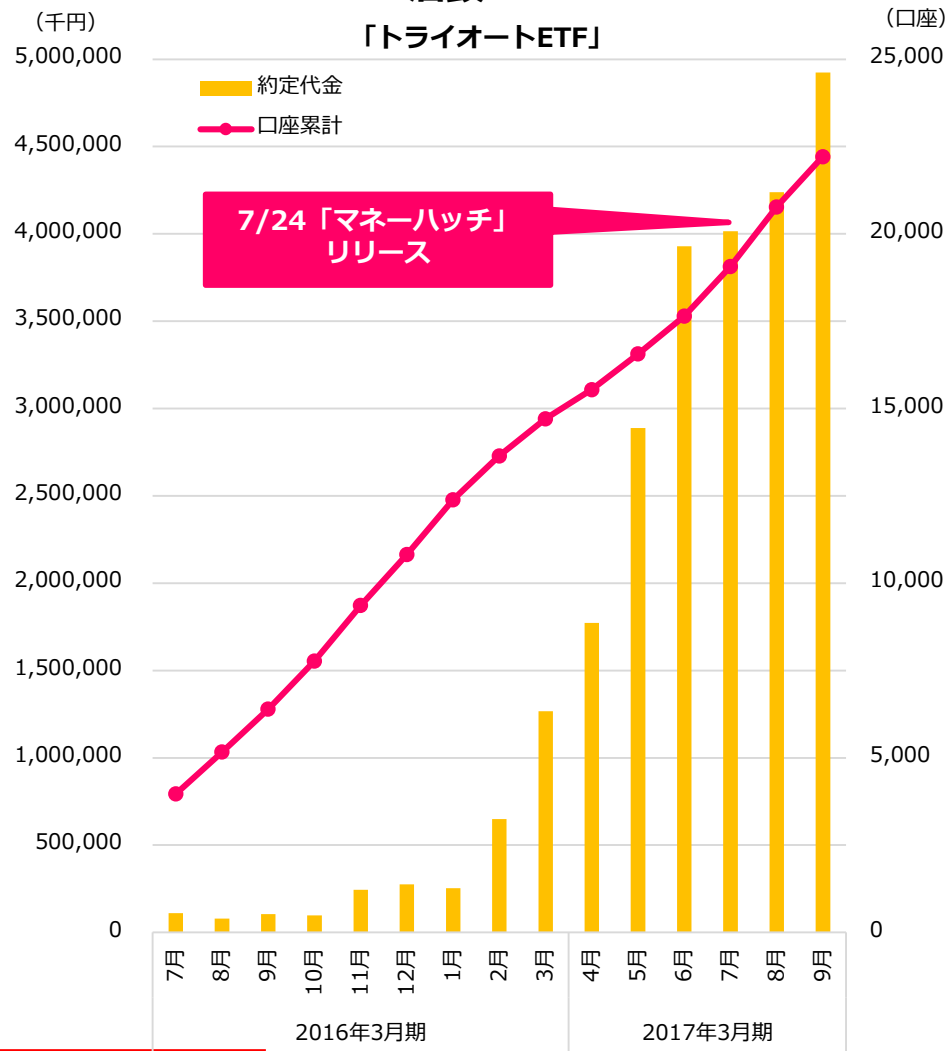


【店頭FX・店頭ETF】取引高推移

店頭FX
「シストレ24・トライオートFX・FX24」



店頭ETF
「トライオートETF」



主要経営指標推移

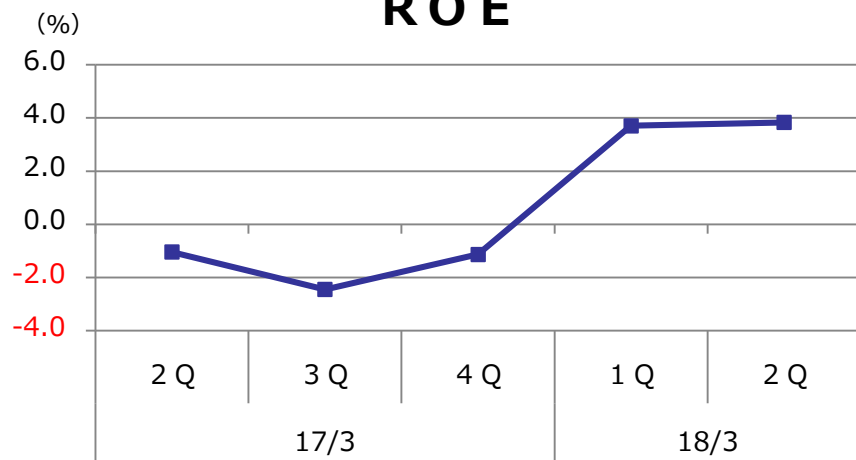
	2017年3月期				2018年3月期			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
ROE (%)	2.0	△1.1	△2.5	△1.1	3.7	3.8		
営業収益経常利益率 (%)	7.7	△17.4	△18.0	13.1	10.5	11.0		
EBITDA (百万円)	159	△44	△70	218	177	188		
自己資本規制比率 (%)	1156.1	1096.5	1068.2	807.2	760.8	806.4		

※ 1. ROEは、四半期純利益を年換算して算出しております。

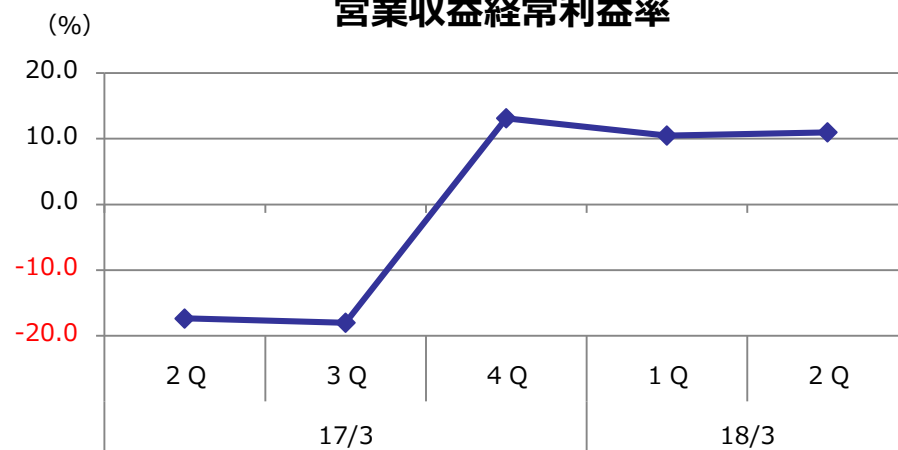
EBITDAは、「税金等調整前四半期純利益－特別損益＋支払利息＋減価償却費」で計算しております。

2. 2017年3月期末の自己資本規制比率の減少は、主に豪州子会社と銀行とのカバークレジット契約において、債務保証を行ったことによるものです。

ROE



営業収益経常利益率





株主還元・配当政策

株主還元・配当政策

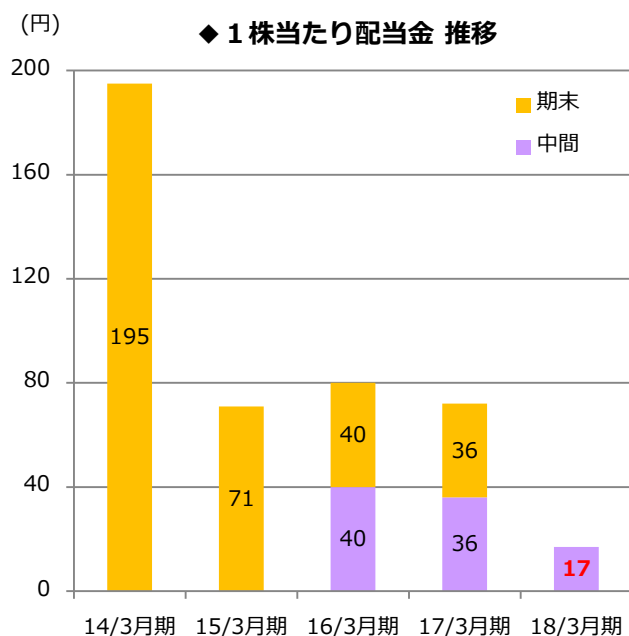
◆配当方針（2018年3月期以降）

連結配当性向30%または連結純資産配当率（D O E）2%（年率）のいずれか高い方を目安とし、
中間・期末の年2回の配当を実施

◆2018年3月期 配当

中間配当 17円

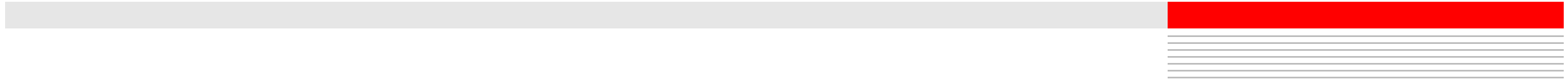
期末配当 未定



◆配当の実績

決算期		14/3月期	15/3月期	16/3月期	17/3月期	18/3月期
1株当たり 配当金額 (円)	中間	0.0	0.0	40.0	36.0	17.0
	期末	195.0	71.0	40.0	36.0	未定
	合計	195.0	71.0	80.0	72.0	
当期純利益 (百万円)		3,931	496	△404	△118	
配当総額 (百万円)		1,137	416	469	422	
配当性向 (%)		30.2	83.4	—	—	
R O E (%)		32.0	4.0	—	—	
D O E (%)		9.6	3.3	4.1	4.0	
配当利回り (%) ※		14.8	6.1	5.9	5.5	

※各年度末の終値で算出



トピックス

■ 積立投資サービス「マネーハッチ」リリース

当社は2017年7月24日より、元手資金ゼロからはじめる世界初の資産運用ツール「マネーハッチ」をリリースいたしました。

特徴1：クレジットカードのポイントが投資積立原資になる

クレジットカード「インヴァストカード」のご利用時に貯まるポイント（還元率1%）を投資原資にすることができます。

特徴2：FXトレードが自動的に積立原資になる

当社のFXサービスでトレードするだけで、売買数量に応じて積立原資が貯まる方法もご用意しております。

特徴3：世界初の投資手法により海外投資の欠点を排除

投資対象の海外ETFを差金決済方式であるCFDの形態で取引することにより、海外投資の欠点である元本の為替リスクを排除し、0.1口からの少額投資を可能にしました。

詳細は「マネーハッチ」
<https://moneyhatch.jp>



「マネーハッチ」画面イメージ



「マネーハッチ×インヴァストカード」メディア向け説明会開催

2017年8月9日に東京・虎ノ門ヒルズにおいて、「マネーハッチ×インヴァストカード」のメディア向け説明会を開催いたしました。

当日は、約50名ものメディア関係者の方々にお集まりいただき、ジャックスカードと提携して発行するクレジットカード「インヴァストカード」および積立投資サービス「マネーハッチ」についてご紹介させていただきました。

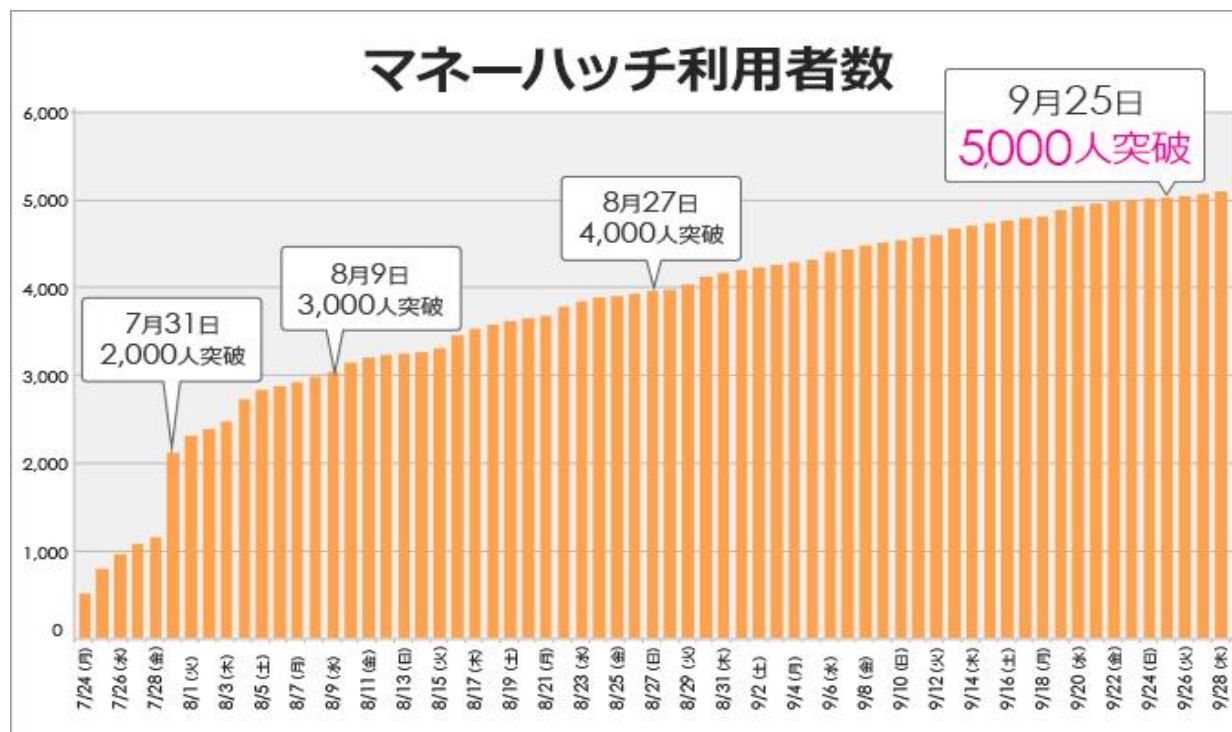


インヴァストカード

「マネーハッチ」利用者数5,000人突破

「マネーハッチ」はリリース直後から多数のお客様にご利用いただき、開始から2ヶ月で、利用者数が5,000人※を突破しました。

現在も新たに口座を開設し、マネーハッチをご利用いただくお客様と合わせ、毎月1,000人以上の方がマネーハッチをはじめています。



※2017年9月28日現在、マネーハッチで投資スタイルを設定している人数

奨学金返済特別採用枠とは、採用時年収※の30%(上限)を
奨学金繰上返済原資として受け取れる

転職によるキャリアアップ + 奨学金の返済

という新しい採用の形

「大学生の2.6人に1人が奨学生」という、我が国の現状を
考えた時、人材紹介会社に支払う経費を
奨学金の繰上返済に充てる事が出来たら...

そんな思いからスタートした、
インヴァストの新しい採用の形です。

※採用時年収とは採用時に合意した月給の12カ月分に想定賞与額を加算した想定年収です。
※人材紹介会社を介さずに、当社へ直接応募し、採用された方の内、非給付型奨学金を返済中の方に限ります。

INVEST リクルート

奨学生限定 奨学金返済特別採用枠

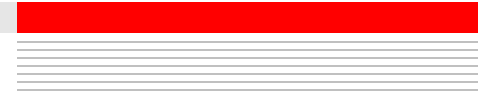
INV@ST

✓18歳以上

Twitter



www.invest-recruit.com



Mission/Vision ・ 経営戦略

Mission 存在する目的

世界をもっと、良い場所にする

世界中の人々の金融面における課題を解決するソリューションを提供し、人々の幸せを通じて世界を「もっと良い場所」にする。

私達の考える「もっと良い場所」とは、一生懸命働いている人が、ちゃんと豊かになれる世の中であり、優秀で、意欲のある学生が、お金を理由に未来の選択肢を諦めなくても良い世の中であり、どんな人でも、幸せになる為の資産形成が出来る世の中です。

私達のミッションは、世界中の人々が、それぞれに思い描く人生設計において、金融面の課題を解決するソリューションを生み出すこと、挑戦する人をサポートし、より多くの人々が人生を豊かにするためのチャンスをつかむ、お手伝いをすることです。金融という側面から、世界中の人々の幸せを通じて、より良い世界の構築に貢献していきたいと考えております。

Vision 目指す姿

2025年までに全世界で1,000万人の利用者を持つ 金融ソリューションを生み出す

資産運用からスタートし、育児や教育、就職や結婚、資産形成など、世界中の人々の人生における様々な分野で、金融面の課題を解決するソリューションの創造を目指します。私達は、全世界から集まった優秀な人材が、日々、本物のプロフェッショナルとしての責任を果たし、ビジョン達成の為に議論し、決断を下し、実行に移す、世界中に顧客を持つグローバル企業になります。その第一歩として、2025年までに全世界で1,000万人の利用者を持つ金融ソリューションを生み出します。

私達のご提案

それは、テクノロジーを活用した自動売買サービス

■ シストレ24 フルオート

- 6,000種類以上のストラテジーを常時監視し、条件に合致する好調なストラテジーを自動的に選択
- 各ストラテジーは全世界から集められたアルゴリズム取引の自動売買プログラム

■ トライオートFX レンジ追尾

- 予め決めた価格帯（価格レンジ）のなかに、買い注文と売り注文を同時に複数設定することで、その価格帯のなかで価格が変動する限り、自動的に利益確定、新規発注を繰り返す

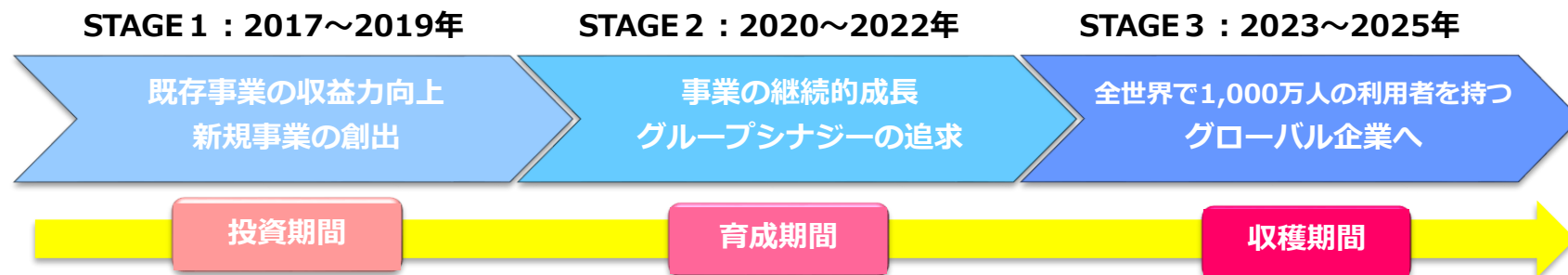
■ トライオートETF 自動売買セレクト

- トライオートETFの自動売買が簡単に始められる初心者の方におススメの機能
希望する投資スタイルを選ぶだけで、お勧めの銘柄×ロジックの組み合わせが表示される

■ 積立投資サービス マネーハッチ **New**

- クレジットカードのポイント（還元率1%）が投資積立原資になる
- FXトレードが自動的に積立原資になる

ビジョン達成に向けた経営戦略



経営戦略（STAGE1：2017～2019年）

① 既存事業の収益力向上

- ・ 独自の付加価値サービスの提供力強化（テクノロジーを活用した自動売買ソリューション）
- ・ 高い収益性、成長が見込める事業への優先投資
- ・ システム統合、内製化等によるコスト構造改革

② 新規事業の創出

- ・ 新たなビジネス領域への進出、F X 事業に次ぐ第2・第3の収益の柱を創る
- ・ 人々のお金に関する課題解決を軸とした事業模索（奨学金返済問題）
- ・ V C ファンド出資を通じたM & A、事業提携等

③ その他

- ・ 企業ブランドの構築
- ・ グローバル展開に対応しうる優秀な人材の獲得、組織の人材基盤強化

インヴァスト証券の会社概要（2017年9月30日現在）

■ 会 社 名	： インヴァスト証券株式会社（INVEST SECURITIES CO.,LTD.）
■ 所 在 地	： 東京都港区西新橋一丁目6番21号 NBF虎ノ門ビル
■ 設立年月日	： 1960年8月10日
■ 資 本 金	： 59億6,508万円
■ 上場取引所	： JASDAQ市場 2006年3月6日 証券コード：8709
■ 代 表 者	： 代表取締役社長 川路 猛（かわじ たけし）
■ 主要な事業	： 金融商品取引業（第1種/第2種/投資助言業） 関東財務局長（金商）第26号
■ 加入取引所	： 東京金融取引所